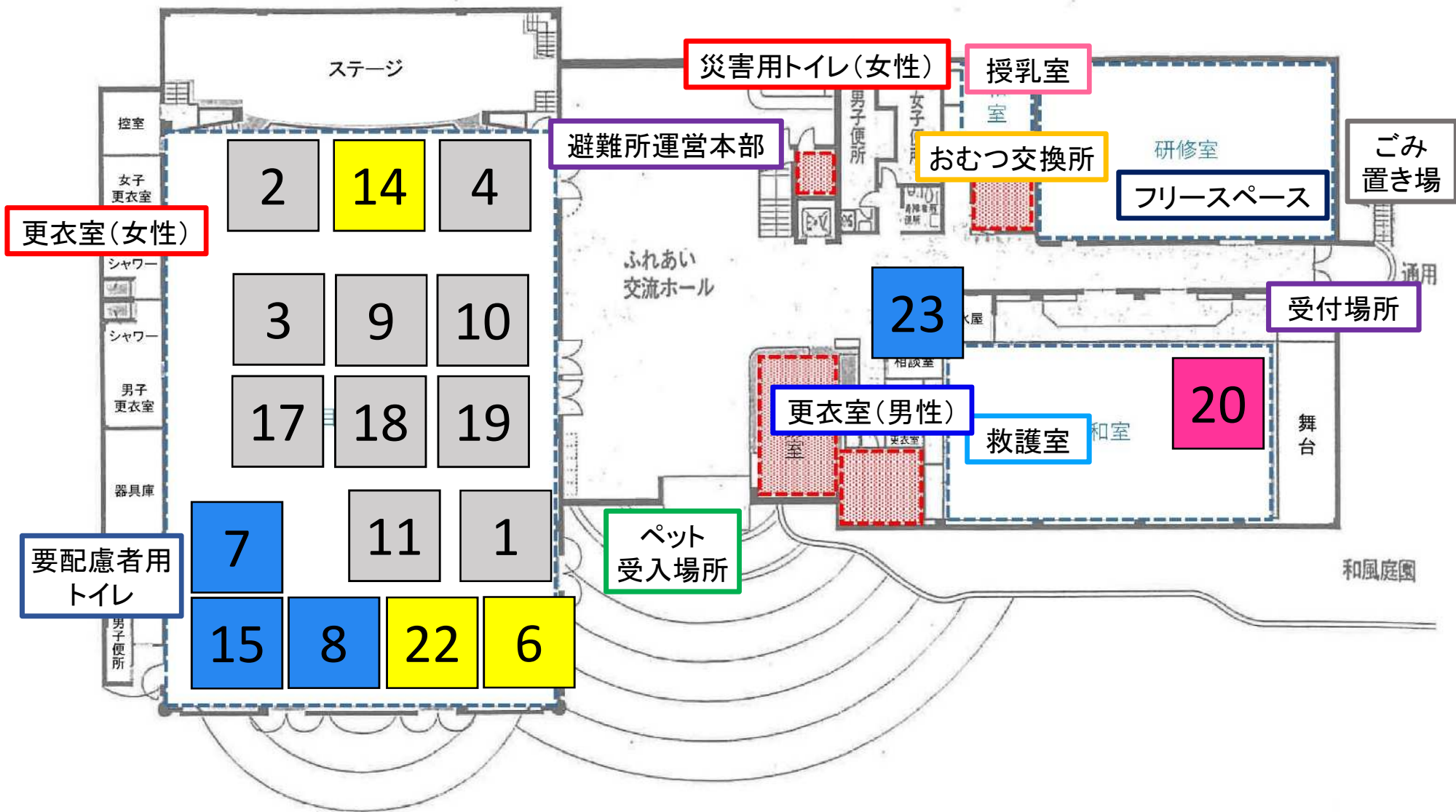
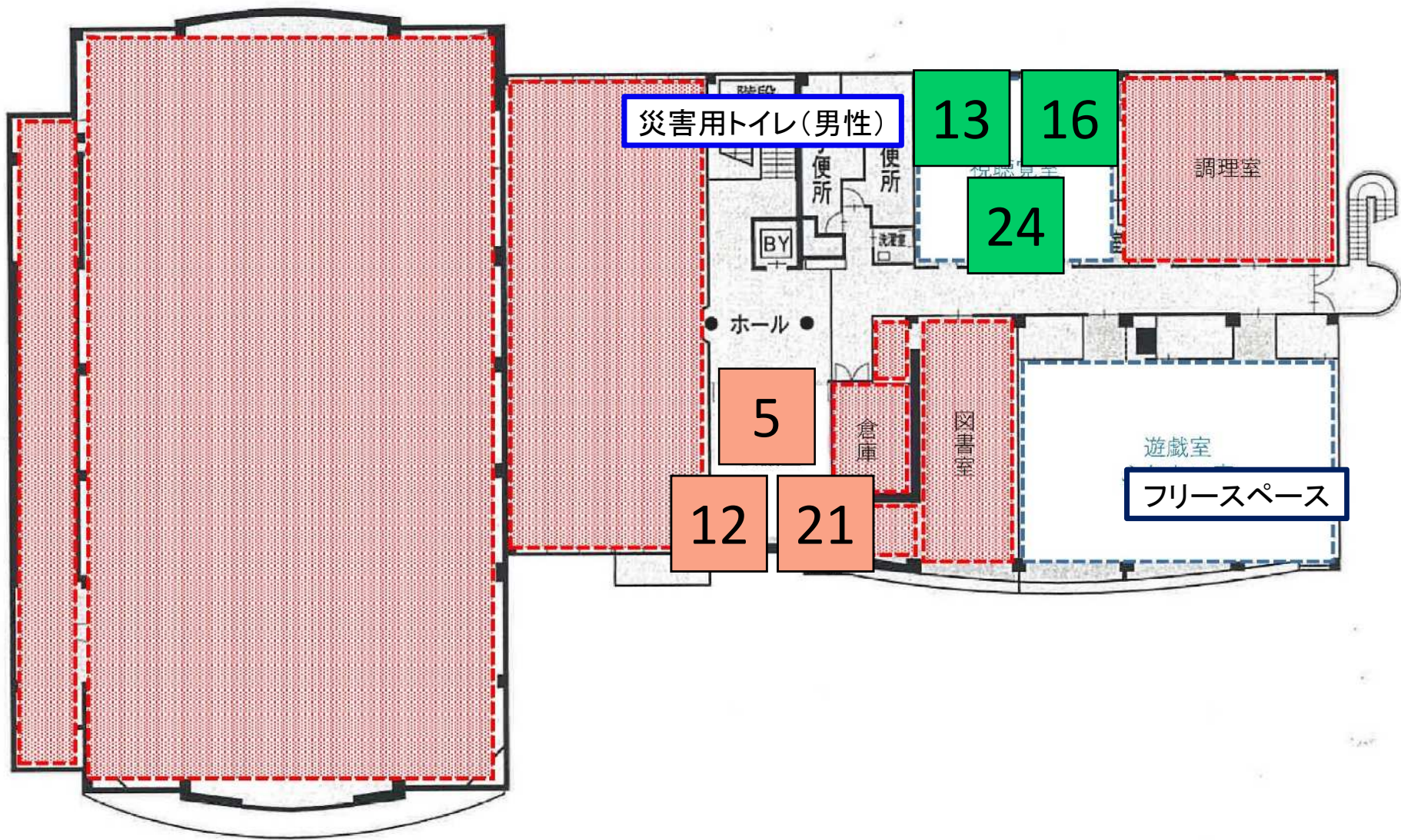


白鳥コミュニティセンター1階

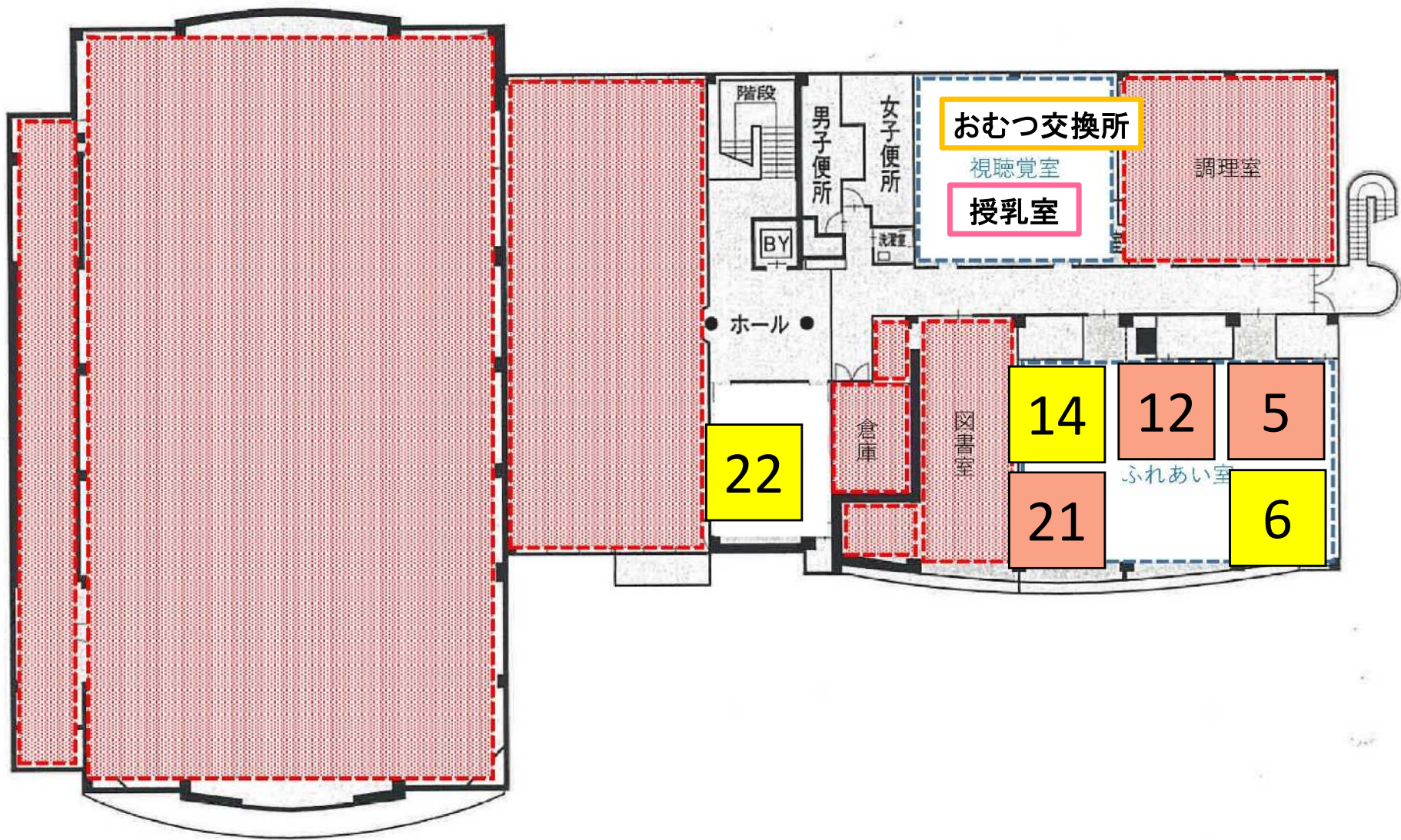
Aグループ





【Aグループ】

- ・ペットを飼っている人は、2階の同じ部屋に集まってもらう(アレルギー対策のため)。
- ・ペットは正面玄関に置いてもらう。
- ・小さい子供がいる家庭は、気持ちの分かりあえると思うので同じ部屋にして、授乳室とおむつ交換の部屋に近いところにした。
- ・インフルエンザにかかっている人は、救護室の中にパーテーションを立てて隔離して感染が広がらないようにする。
- ・車椅子の利用者はトイレの近くにした。
- ・2階のふれあい室は子供の遊び場にした。



【B グループ】

配慮点

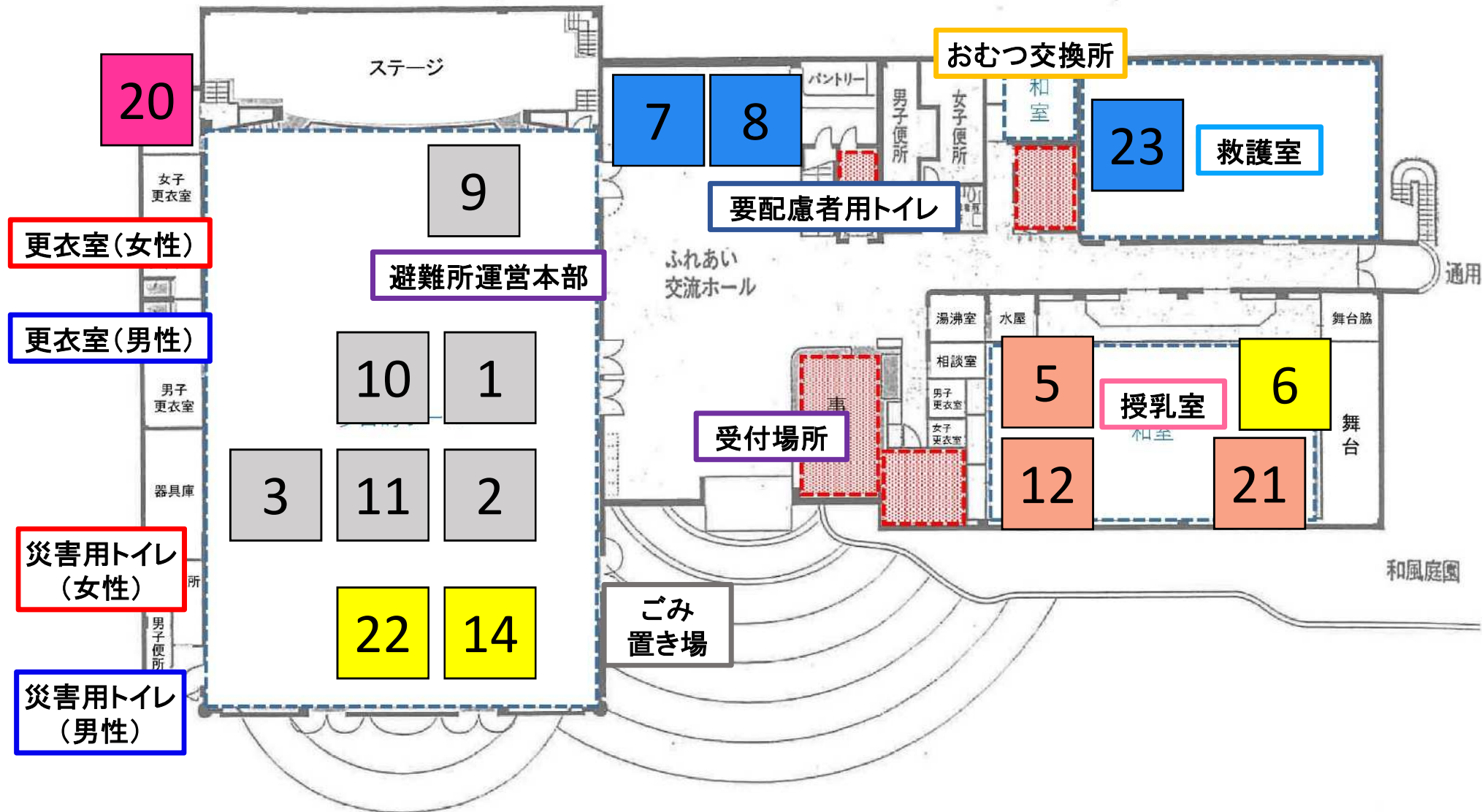
- ・配慮が必要な方は、要配慮者トイレの近くへ配置した。
- ・泣いている子の家庭は部屋を分けて、落ち着いたら他の子どもがいる世帯と同じ場所にすることを考えた。
- ・インフルエンザの可能性のある家庭を個室へ分けた。
- ・ペットのいる家庭は、受入場所の近くへ配置した。

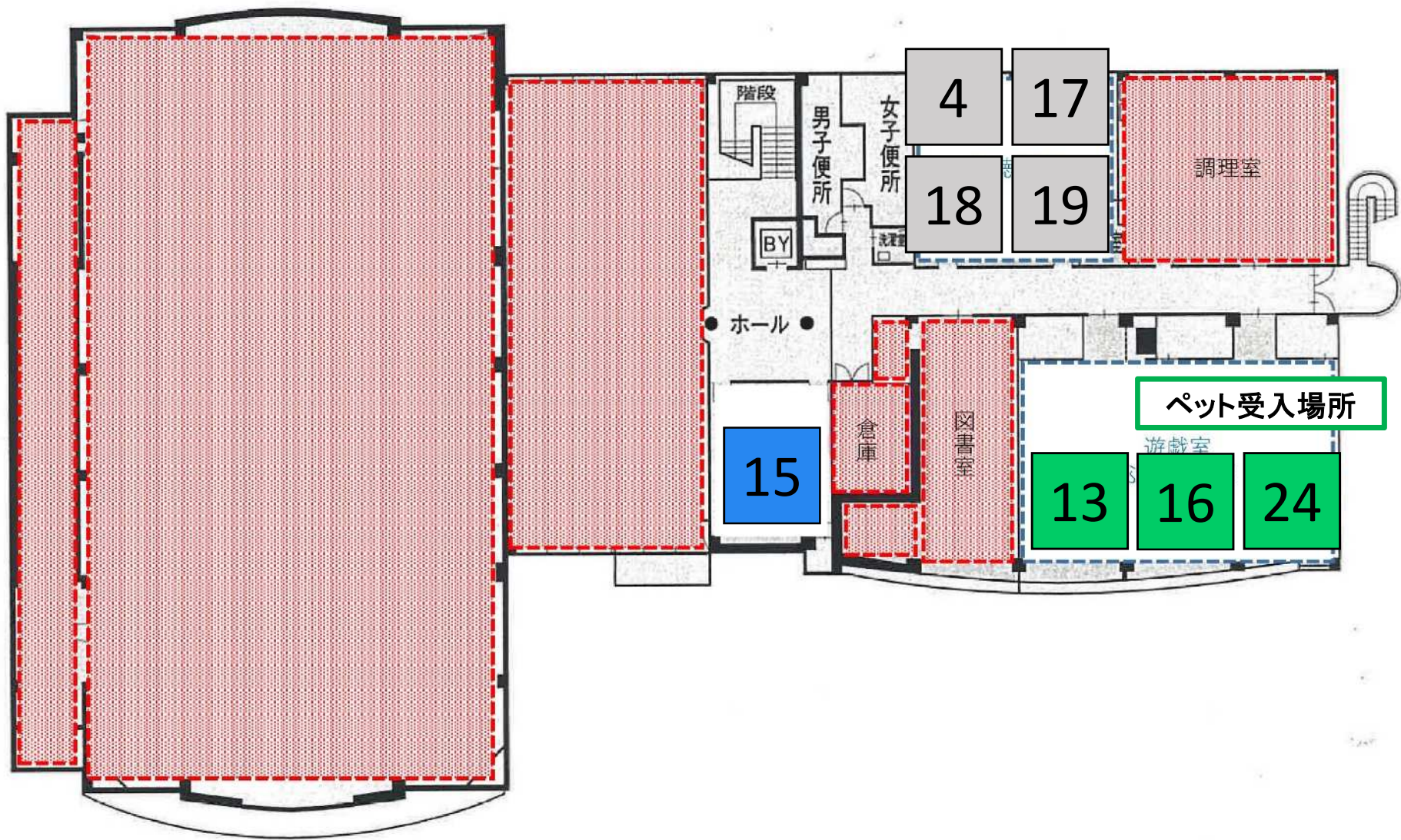
改善点

- ・子供の場所を2階にまとめたが、足音が響くかもしれない。1階だと外へ遊びに行きやすいかもしれない。

白鳥コミュニティセンター1階

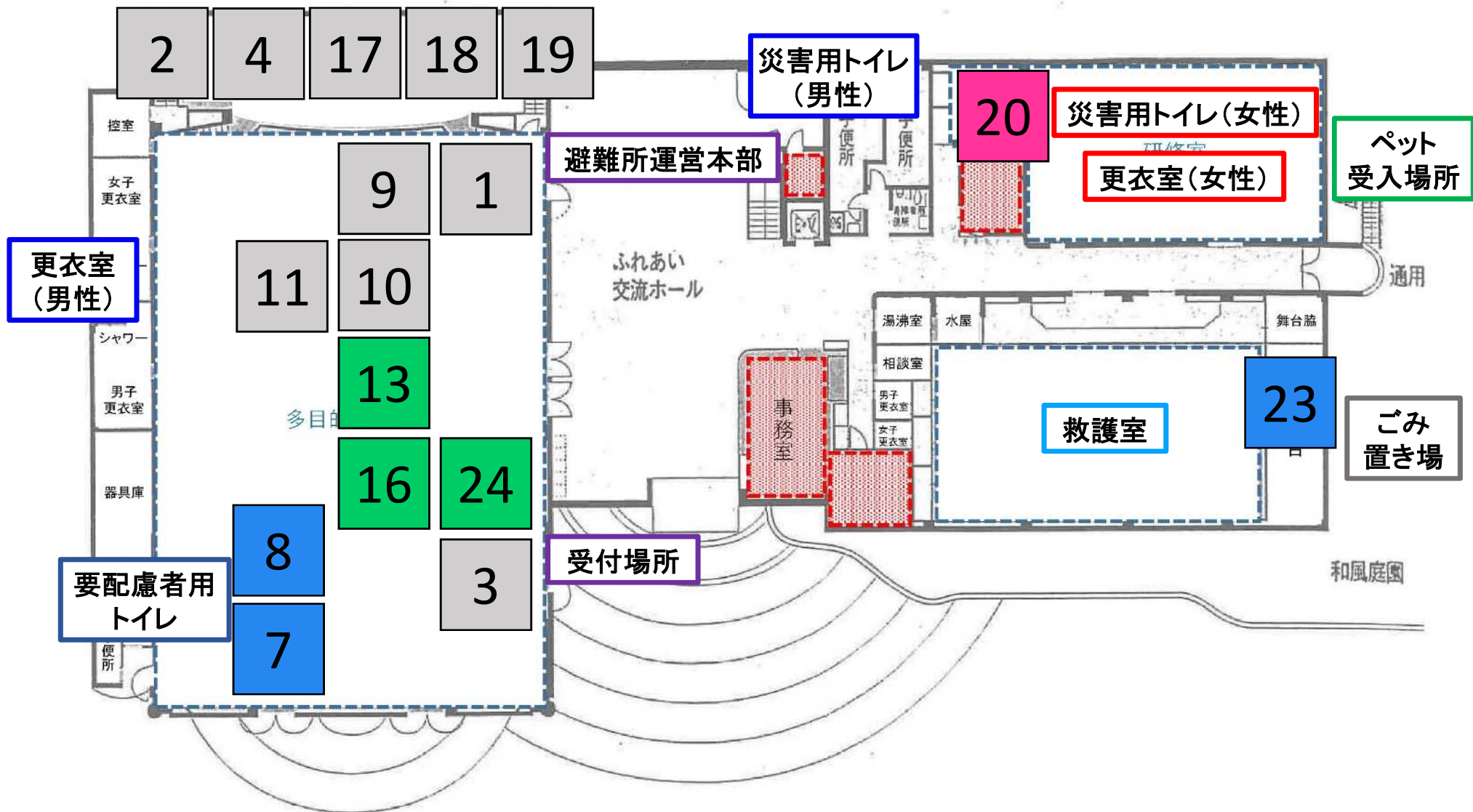
Cグループ

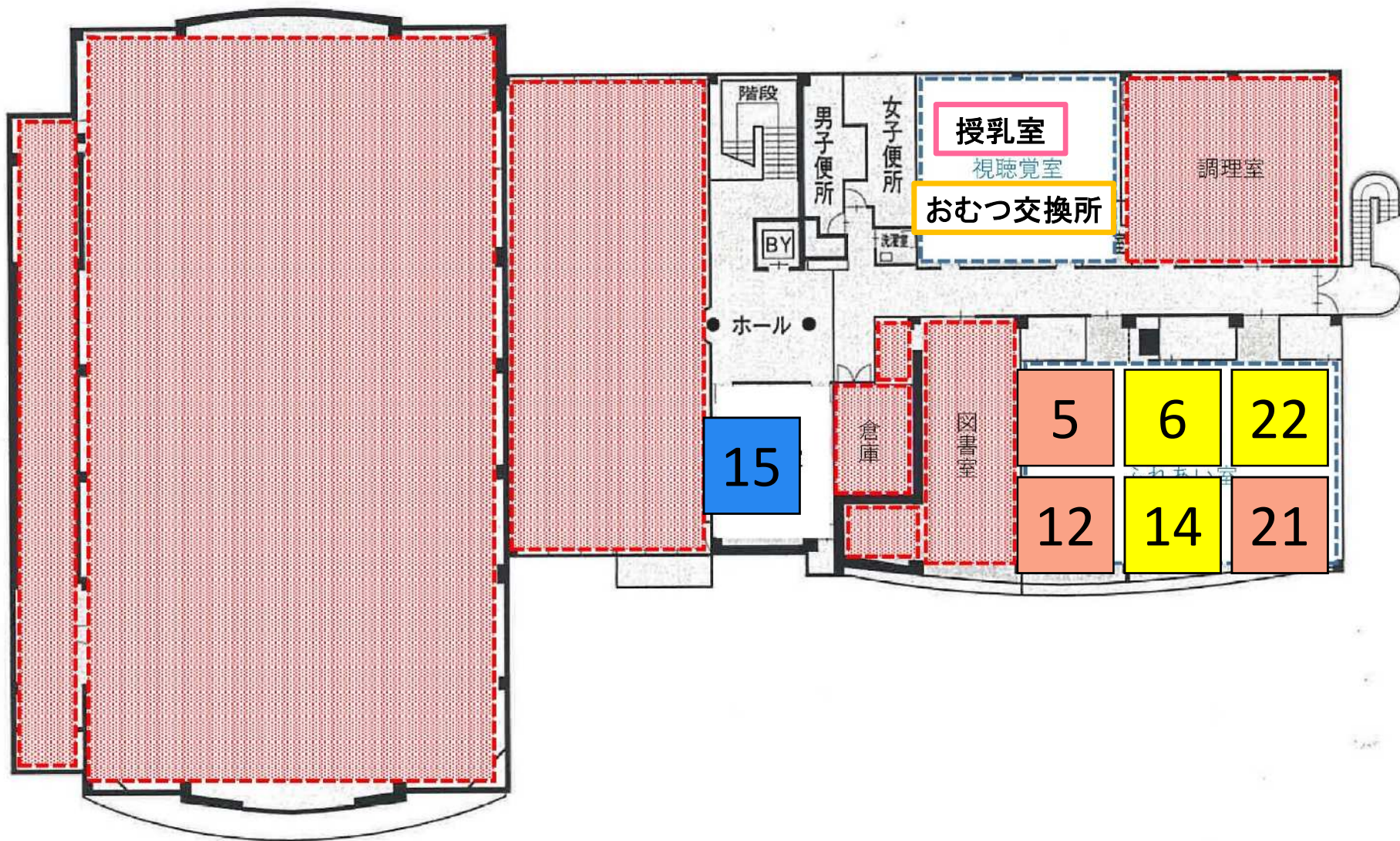




【C グループ】

- ・受付は入り口近くに設置した。
- ・車椅子の方は、要配慮者用トイレの近くで広いスペースを確保した。
- ・授乳の必要な方は、授乳室内にした。
- ・ペットは2階にし、周りに迷惑がないようにした。
- ・高齢者は、災害用トイレの近くにした。
- ・出張者、旅行者は長く滞在しない可能性が高いため、2階の別部屋にした。
- ・小さな子どもは外が見えるホールの端にした。
- ・30代の家族は、運営を手伝ってもらうことを考えて本部の近くにした。
- ・インフルエンザ患者？は個室にした。救護室は、救護が必要な人が出た場合に使用する。
- ・精神障害がある世帯は、別室にした。
- ・妊婦さんは、何かあったときのために救護室にした。





【D グループ】

- ・運営がしっかりできて、全体が把握できるようにした。
- ・防犯上、出入口は一か所にした。
- ・多目的ホールは、カテゴリ別で配置する。 ⇒ステージ上で見守り、運営の手伝い
- ・救護室は空けておく。妊婦は、和室の舞台に配置し、カーテンで仕切る。
- ・ペットはアレルギーのこと、怖がる人もいるため外で受け入れる。飼い主を固めてペット愛を仲間と語り合う。
- ・性被害を防ぐため、男性と女性の導線を別になるようにした。
- ・子ども、赤ちゃんのいる家庭は2階へ固めて、協力し合う。